

2008年(平成20年)3月期 決算説明会

2007年4月1日～2008年3月31日

NJK 株式会社 エヌジェーケー
CORPORATION

2008.5.12

■ 当期(2007年度)の業績	2	■ 次期(2008年度)の業績予想	19
業績サマリー	3	業績予想サマリー	20
セグメント別 業績	4	セグメント別 業績予想	21
各事業の概況	5	各事業の概況	22
会社別業績	14	会社別業績予想	29
貸借対照表(連結)	15		
損益計算書(連結)	16	■ 付属資料	30
キャッシュ・フロー(連結)	17	会社概要	
セグメント別受注実績(連結)	18	中期経営計画～経営目標と概要	

本資料に記載されております計画、予測、戦略等の内、結果的事実でないものは、当社グループの業績に関する見通し及び目標であり、これらは現在入手可能な情報をもとに当社の経営陣が判断しているものであります。

したがいまして、これらの見通し及び目標に全面的に依拠することは控えて頂きますようお願い致します。事業業績は、経済情勢、顧客の属する業界での変化・変革(ただしこれらに限られない)など、事業を取り巻くさまざまな要因に影響され、これら見通し及び目標とは大きく異なる可能性があります。

(本資料の数字は単位未満切り捨てで表示しています。)



当期(2007年度)の業績

業績サマリー(連結)

ソフトウェア開発事業の売上高の
減少により減収減益

(単位:百万円)

	05年度 (2006.3期)	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)	
売上高	15,318	15,342	14,019	△1,323	△ 8.6%
営業利益	529	905	829	△76	△ 8.4%
経常利益	706	1,063	794	△269	△25.3%
当期純利益	194	616	321	△294	△47.8%
ROE(%)	2.00	6.26	3.21	△3.05	
EPS(円)	12.59	43.56	22.74	△20.82	
配当金(円)	10.00	12.00	12.00	+0.00	

セグメント別 業績(連結)

- ・ ソフトウェア開発事業は業務アプリケーション、組込ソフトウェアいずれも減収減益
- ・ オリジナルパッケージ開発及び販売事業は子会社（メディアドライブ(株)）の好調により収支改善

		05年度 (2006.3期)	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	10,685	11,199	10,075	△1,123	△ 10.0%
	ネットワーク機器・システム商品販売	2,596	2,346	2,177	△168	△ 7.2%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1,265	1,184	1,240	+56	+ 4.7%
	ハードウェア組立	724	559	486	△72	△ 12.9%
	その他	47	52	38	△14	△ 27.4%
	合計	15,318	15,342	14,019	△1,323	△ 8.6%
営業利益	ソフトウェア開発	723	1,060	902	△157	△ 14.8%
	ネットワーク機器・システム商品販売	△64	30	4	△26	△ 85.6%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	△178	△206	△92	+113	—
	ハードウェア組立	61	△4	△18	△14	—
	その他	△30	17	30	+13	+ 75.8%
	合計	529	905	829	△76	△ 8.4%

ソフトウェア開発事業の概況

業務アプリケーション

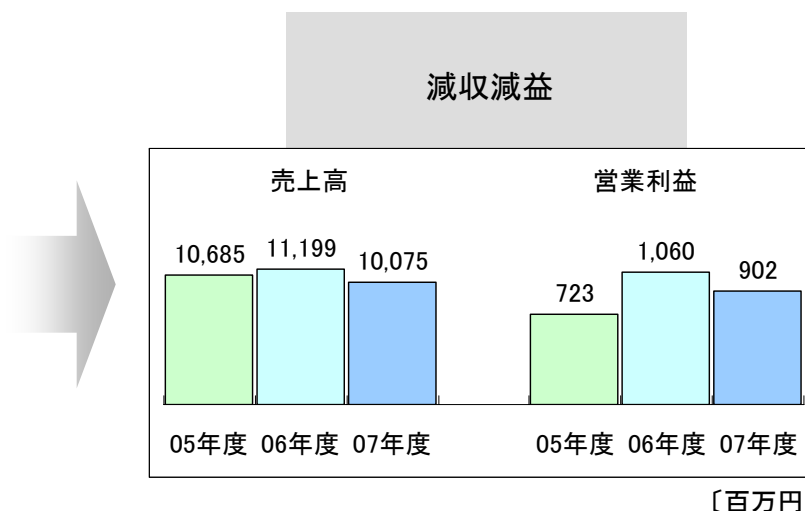
- × 公共系の大型開発案件は開始時期の先送りや開発規模の縮小が相次ぎ、カードシステムや通信関連なども拡大が進まなかった
- △ 証券、生損保などの金融機関向け顧客常駐サービスは受注条件の見直しを進めることができたが、増員や新規案件の獲得により規模を大きく拡大することはできなかった

組込ソフトウェア

- デジタル家電・情報家電関連は好調を継続した
- × 携帯電話端末ソフトは、携帯電話機器メーカーの製造計画の見直しの影響などにより、下期に受注が大きく減少した

△ 〔共通〕

- 販売費および一般管理費の削減に努めた
 - ⇒ 販売費および一般管理費 前期比△72百万円
 - ⇒ 売上総利益率は前期並み
07年度 22.9% [06年度 22.8%]



ソフトウェア開発事業の概況

顧客グループ別売上高

[百万円]

	06年度 (2007.3期)			07年度 (2008.3期)		増減 (前期比)	
	売上高	構成比		売上高	構成比		
NTTデータグループ	2,342	20.9%	→	2,394	23.8%	+ 52	+2.9p
NTTグループ	1,926	17.2%	↘	1,593	15.8%	△333	△1.4p
ソニーグループ	1,642	14.7%	→	1,591	15.8%	△ 50	+1.1p
松下グループ	1,591	14.2%	↘	1,385	13.7%	△205	△0.5p
銀行・証券・保険	687	6.1%	↗	825	8.2%	+137	+2.1p
NECグループ	542	4.9%	→	514	5.1%	△ 27	+0.2p
東芝グループ	402	3.6%	→	445	4.4%	+ 43	+0.8p
JR東日本グループ	463	4.1%	↘	169	1.7%	△293	△2.4p
その他	1,600	14.3%	↘	1,155	11.5%	△445	△2.8p
合 計	11,199	100.0%		10,075	100.0%	△1,123	

ソフトウェア開発事業の概況

主なシステム分野別売上高

[百万円]

	06年度 (2007.3期)		07年度 (2008.3期)		増減 (前期比)
	売上高	構成比	売上高	構成比	
基幹業務アプリケーション	3,569	31.9%	3,383	33.6%	△186 +1.7p
携帯電話端末ソフト	2,511	22.4%	2,284	22.7%	△227 +0.3p
デジタル家電・情報家電関連	1,139	10.2%	1,269	12.6%	+129 +2.4p
通信システム関連	788	7.0%	702	7.0%	△85 ±0.0p
ERPパッケージ導入支援関連	625	5.6%	507	5.0%	△117 △0.6p
Webアプリケーション	523	4.7%	404	4.0%	△118 △0.7p
道路交通・カーエレクトロニクス	423	3.8%	278	2.8%	△145 △1.0p
その他	1,616	14.4%	1,243	12.3%	△373 △2.1p
合 計	11,199	100.0%	10,075	100.0%	△1,123

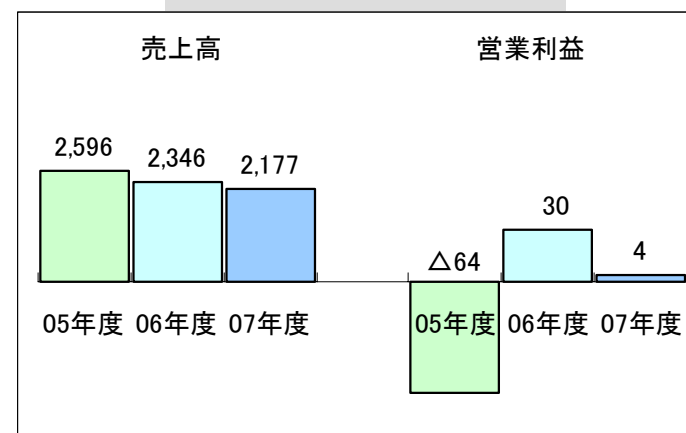
ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況



競合他社との価格競争により、学校法人向けや既存のお客さま向けのネットワークシステム案件が減少した

売上総利益率 07年度 14.4% (06年度 15.2%)

売上高は減少
営業利益は黒字維持



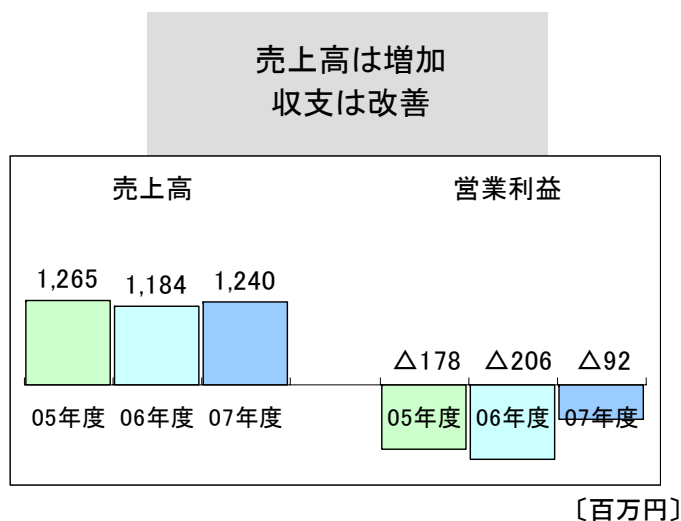
[百万円]

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

○ OCRソフト関連（メディアドライブ）は、ソリューション
ビジネスへの事業転換が奏功し、収支が大きく改善した

売上高 07年度 886百万円 [06年度 824百万円]
営業利益 07年度 158百万円 [06年度 36百万円]

× マンション管理システムは、製品の改修と品質の改良に工数を要したため、受注が大きく減少した



オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

△

Natureシリーズは、
データ活用ソリューション「DataNature/E」を中心に大手BP（ビジネスパートナー）との協業による販売や他社パッケージとの連携を進めた結果、損益は黒字に転換した

主なNatureシリーズの販売本数

製品名	07年度		06年度
	計画	実績	
DataNature/E	140	139	123
DataNature 5	1,360	2,080	2,166

BUIソリューション

×

BUIソリューションは、
個人向け・法人向けの携帯電話ビジネスのサービスメニューを揃えたが、立ち上げに時間・費用を要したため、販売の本格化には至っていない

（注）BUIソリューションとは、
「Natureシリーズ」としてパッケージ製品化してきた当社の独自技術BUI（ボタン・ユーザ・インターフェイス：日米欧で特許技術）をビジネス・インテリジェンス・ソリューション以外の用途、分野で利用するために、コアの技術をアプリケーションとして提供するものです。

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

マンション管理システム

- × マンション管理システムは、製品（FMS-Info）の改修と品質の改良に工数を要したため、受注が大きく減少した

マンション管理システムの販売セット数

製品名	07年度		06年度
	計画	実績	
FMS-V2	10	4	7
FMS-Info	11	1	7
FMS-工事	7	0	2

FMS-V2：管理組合収納・会計システム

FMS-Info：マンション管理会社のフロント業務を支援するマンション総合情報システム

FMS-工事：総合工事管理、工事履歴管理などの工事管理システム

セマンティックソリューション

- △ 適時開示情報分析システムDInqs（ASPサービス）や大量保有報告書分析システムの提供を開始した

移動体製品開発

- × 移動体製品開発は、見込み顧客である無線通信機器メーカーの開発計画の変更に伴い、当初予定していた案件を獲得することができなかった
⇒ 当期末にソフトウェア廃棄損（特別損失）74百万円を計上

KURAGE

- △ KURAGE（電子機器向け動作確認ロボット）は改良を行い適応可能な機器の種類を増やして提案営業を展開した

（注）KURAGEについては会計上ソフトウェア開発事業セグメントに含めております

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

- FormOCRなどの汎用製品を組み込んだソリューションや選挙投票用紙認識分類ソフトなどの特定用途向けのOCRが順調に推移した

ライセンス販売

- 複合機メーカー向けの継続案件が順調に推移したことに加え、「レシートOCR」などの新規の大口案件を受注した

パッケージ流通

- 店頭流通市場は縮小しているなか「やさしく名刺ファイリング」は好調な販売を継続した
- △ 自社製品の新たな販路として他社向けにOEM供給を開始した

主なOCRパッケージの販売本数

製品名	07年度		06年度
	計画	実績	
やさしく名刺ファイリング	17,417	14,828	16,674
e.Typist	8,931	5,992	5,826
WinReader-PRO	273	195	241

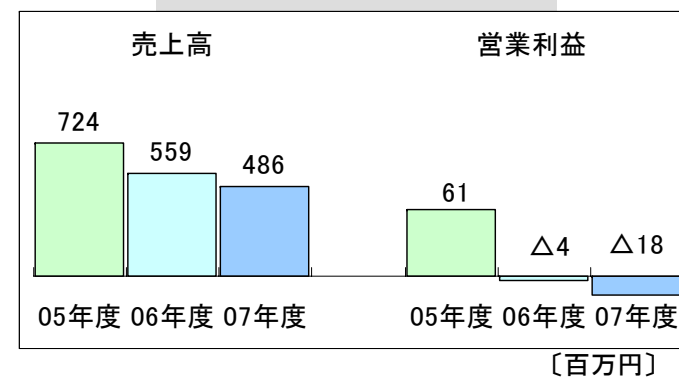
ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

×

主要取引先からの受注の減少分を新規顧客からの受注で補うことができず、売上高、利益ともに減少した



売上高は減少
営業利益は赤字増



会社別業績

		〔百万円〕			
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
NJK(個別)	2006.3期	13,331	437	661	493
	2007.3期	13,778	823	1,026	619
	2008.3期	12,497	650	627	244
NJKテクノ・システム	2006.3期	1,036	100	101	99
	2007.3期	908	37	40	72
	2008.3期	811	17	22	18
メディアドライブ	2006.3期	1,099	14	30	6
	2007.3期	824	36	45	△38
	2008.3期	886	158	162	90
エーアイ出版	2006.3期	4	△40	△37	△30
	2007.3期	—	—	—	—
	2008.3期	—	—	—	—

※エーアイ出版は、2005年10月にNJKテクノ・システムと合併しております。

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)
流動資産	10,125	10,476	+351
固定資産	5,525	4,850	△674
資産合計	15,650	15,327	△322
流動負債	3,969	3,600	△368
固定負債	1,403	1,626	+223
負債合計	5,372	5,227	△144
株主資本	10,717	10,832	+115
評価・換算差額等	△680	△806	△125
少数株主持分	242	74	△168
純資産合計	10,278	10,100	△178
負債、純資産合計	15,650	15,327	△322

資産の減少

流動資産の増加は、主にMMFなどの「有価証券」の増加によるものです。
固定資産の減少は、社員寮の売却などによる「有形固定資産」の減少や、償却、廃棄による「ソフトウェア」の減少と、「投資有価証券」の減少などによるものです。

負債の減少

主に「買掛金」の減少によるものです。

純資産の減少

主に「その他有価証券評価差額金」の減少と、メディアドライブ株式の追加取得による少数株主持分の減少によるものです。

自己資本比率

06年度末 64.1%

07年度末 65.4%

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)	
売上高	15,342	14,019	△1,323	△ 8.6%
売上原価	11,710	10,577	△1,132	△ 9.7%
売上総利益	3,631	3,441	△190	△ 5.2%
販売費及び一般管理費	2,726	2,611	△114	△ 4.2%
営業利益	905	829	△76	△ 8.4%
営業外損益	157	△35	△192	—
経常利益	1,063	794	△269	△ 25.3%
特別損益	△123	△142	△19	—
税金等調整前当期純利益	939	651	△288	△ 30.6%
法人税等	335	317	△18	—
少数株主利益	△12	12	+25	—
当期純利益	616	321	△294	△ 47.8%

売上原価の減少

売上原価の減少の主なものは、ソフトウェア開発事業の外注加工費、労務費、ネットワーク機器・システム商品販売事業の商品仕入高などです。

販管費の減少

販管費の減少の主なものは、人件費、貸倒引当金、地代・家賃および商品開発へのシフトに伴う研究開発費などです。

営業外損益の主な内訳

主な特別損益は次のとおりです。

06年度	
受取利息	+1億15百万円
07年度	
受取利息	+1億21百万円
投資有価証券評価損	△2億3百万円

特別損益の主な内訳

主な特別損益は次のとおりです。

06年度	
返品引当金繰入	△56百万円
有形固定資産廃棄損	△24百万円
投資有価証券評価損	△20百万円
07年度	
有形固定資産売却益	+69百万円
投資有価証券評価損	△1億30百万円
ソフトウェア廃棄損	△74百万円

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)
営業キャッシュ・フロー	1,085	1,477	+392
投資キャッシュ・フロー	△388	△341	+46
財務キャッシュ・フロー	△693	93	+787
現金及び現金同等物の 増減額	4	1,229	+1,225
現金及び現金同等物の 期末残高	4,633	5,862	+1,229

営業キャッシュ・フロー

売上債権の回収額の増加などにより前期に比較して増加しております。

投資キャッシュ・フロー

当期は、市場販売を目的とするソフトウェアの開発に投資するなど無形固定資産の取得に96百万円を、また子会社メディアドライブ株式の追加取得に93百万円を支出しております。

また、有形固定資産の売却により2億82百万円を得ております。

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の借り換えを行う一方、配当金1億75百万円を支払っております。

セグメント別 受注実績（連結）

（単位：百万円）

		05年度 (2006.3期)	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	増減 (前期比)
ソフトウェア開発	受注高	10,556	11,379	10,514	△864
	受注残高	3,308	3,488	3,926	+438
ネットワーク機器・ システム商品販売	受注高	2,621	2,390	2,106	△283
	受注残高	106	150	80	△70
オリジナルパッケージ 開発及び販売	受注高	1,328	1,139	1,328	+188
	受注残高	78	34	121	+87
ハードウェア組立	受注高	625	508	500	△7
	受注残高	86	35	49	+13
合 計	受注高	15,131	15,417	14,450	△967
	受注残高	3,581	3,709	4,178	+469

※上記の表は、その他事業セグメントを除いております。



次期(2008年度)の業績予想

業績予想サマリー(連結)

ソフトウェア開発事業の回復とオリジナル
パッケージ開発及び販売事業の進展により増益

(単位:百万円)

	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	増減 (前期比)	
売上高	15,342	14,019	14,900	+880	+ 6.3%
営業利益	905	829	1,000	+170	+ 20.6%
経常利益	1,063	794	1,030	+235	+29.7%
当期純利益	616	321	800	+478	+148.5%
ROE(%)	6.26	3.21	7.98	+4.77	
EPS(円)	43.56	22.74	56.52	+33.78	
配当金(円)	12.00	12.00	12.00	+0.00	

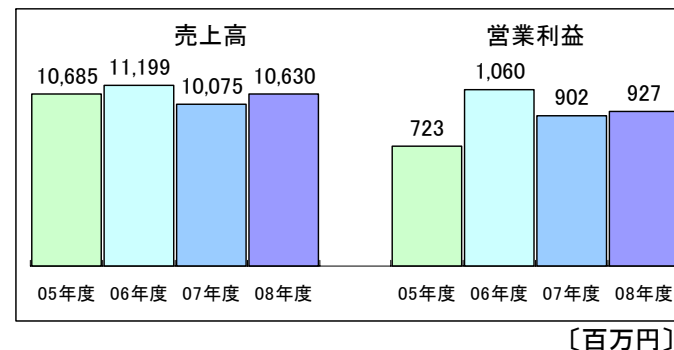
セグメント別 業績予想(連結)

- ・ソフトウェア開発事業は積極的な営業展開ときめ細かい要員シフトで増収増益
- ・オリジナルパッケージ開発及び販売事業は、マンション管理システムが収支改善

(単位:百万円)

	06年度 (2007.3期)	07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	11,199	10,075	10,630	+554 + 5.5%
	ネットワーク機器・システム商品販売	2,346	2,177	2,260	+82 + 3.8%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1,184	1,240	1,460	+219 + 17.7%
	ハードウェア組立	559	486	520	+33 + 6.8%
	その他	52	38	30	△8 △ 21.9%
	合計	15,342	14,019	14,900	+880 + 6.3%
営業利益	ソフトウェア開発	1,060	902	927	+24 + 2.7%
	ネットワーク機器・システム商品販売	30	4	12	+7 +171.4%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	△206	△92	25	+117 -
	ハードウェア組立	△4	△18	8	+26 -
	その他	17	30	28	△2 △ 9.5%
	合計	905	829	1,000	+170 + 20.6%

ソフトウェア開発事業の概況



業務アプリケーション

- ①公共系は、大型開発案件の開始時期が不確定など不透明な状況が続く
- ②法人企業向けは、企業収益の鈍化や事業環境の変化により、お客さまの投資意欲はまだら模様を強める

- 既存のお客さまであるプライマリに対する横展開（新規部門や既存部門の新規案件）を推し進める
- 保有技術を武器に新規エンドユーザの開拓を図る
⇒次世代ネットワーク、ICタグ、セキュリティ…
⇒基盤系・ミドル系・インフラ構築…
- 証券、生損保などの金融機関向けについては、既存案件の増員要請への対応と新規案件の獲得を進める

組込ソフトウェア

携帯電話や家電製品などの製品の高機能化、高性能化に伴い、今後も需要は拡大すると見込まれる一方、製品（ハード）自体の開発計画に大きく影響を受ける

- デジタル家電・情報家電関連は既存のお客さまの新規の案件の獲得を進める
- 携帯電話端末ソフトなどでは、お客さまからの早期の情報収集に努め、協力会社を活用した要員のソフトなど、開発計画や開発規模の変化に応じた速やかな対応を図る

〔共通〕

受注条件（受注単価、開発期間等）は厳しいまま推移する

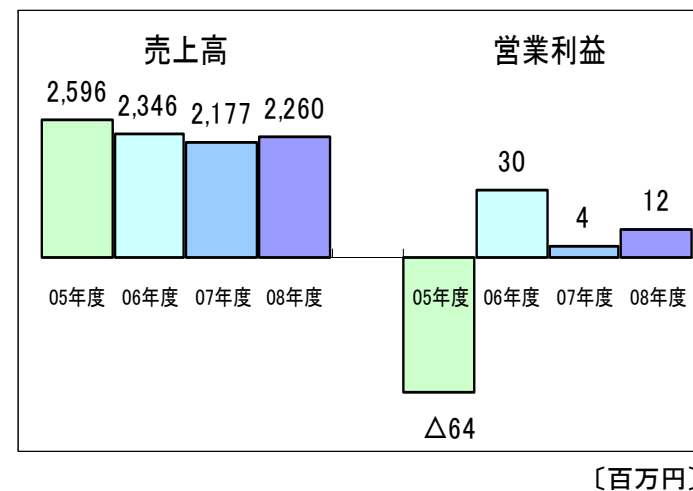
- 受注管理と稼働管理の徹底、プロジェクト単位の採算管理・品質管理の強化を継続する

ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

パソコン価格の下落傾向と価格競争の激化により厳しさは継続する

ユーザの求めるネットワークシステムやソリューションは、より戦略的になり、あわせてセキュリティを重視したものとなる

- ネットワークシステムでは、ユーザニーズに合わせたきめ細かなサービスの提供を武器に受注の拡大を図る
- 当社グループのオリジナル製品群や高付加価値商品を活用したソリューション営業を推し進める
- 当社グループ営業の要として他事業や子会社の営業と連携した営業活動を進める

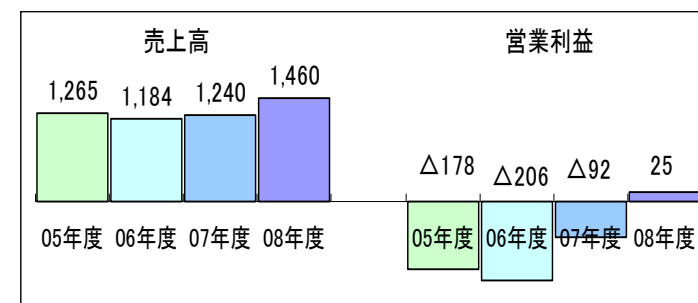


オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

OCRソフト関連（メディアドライブ）は好調を維持し、Natureシリーズでは、利益の増加を図る

マンション管理システムは、黒字化を目指す

その他のカテゴリでは、製品のリリースや受注活動を推し進め、採算ラインに向けた拡販を図る



〔百万円〕

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

情報分析ニーズは大企業から中堅中小企業、経営層から現場マネジメント層へと広がりを見せていく

ERPパッケージベンダーにおいて自社製品の差別化に向け、分析機能などの付加価値を求める傾向が強い

■ 主なNatureシリーズの目標販売本数

製品名	上期	下期	通期
DataNature 5・6	350	450	800
DataNature/E	40	60	100

- 主力BPへのサポート（製品説明、提案支援）を手厚くするとともに、新たなBPの獲得や他社の有力パッケージ、特化型パッケージとの連携を推し進める
- さらなる性能の向上や機能の拡大に向けて、研究開発や製品化を進める

マンション管理システム

マンション管理適正化法の浸透や管理組合の意識の高まりにより、マンション管理業務の適正化・効率化や管理組合ごとのきめ細かな対応が求められる

■ マンション管理システムの目標販売セット数

	上期	下期	通期
FMS-V2	3	8	11
FMS-Info	0	4	4
FMS-工事	0	1	1

- 前期からの引き合い案件の確実な受注を図る
- セミナー営業により製品の特徴をアピールし、見込み新規案件の掘り起こしに努める

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

セマンティックソリューション

電子化された企業開示情報の分析の迅速化など、多様な情報分析ニーズが潜在する

XBR Lの導入や四半期報告書制度の開始などにより、より迅速な企業開示情報の分析へのニーズが高まる

- DInqs（適時開示情報分析システム）の機能追加やこれに続く、企業開示情報分析システムの製品化を図る
- 専門情報サービス提供会社との連携も視野に入れ拡販を図る

BUIソリューション

携帯電話を活用するデータ活用アプリケーションの需要が広がる

- 個人向けは、コンテンツ（石山勇人の「快食!ラーメン情報」）の利用者の増加をもくろむ
- 法人向けは、KDDIが提供する「Business Port」などによるサービスの拡大に加え、BUIを活用したソリューション案件の獲得を図る

KURAGE

電子機器の高度化、多機能化が進む一方、開発期間の短縮化と製品の品質管理の強化が求められる

- 拡販に向け製造委託会社や検証サービス専門会社との連携を強化する
- ターゲットとなる電子機器メーカー向けの営業を強化する

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

日本版SOX法、個人情報保護法対応や業務の効率化などにより紙文書を電子化するニーズが拡大する

- 自社のホームページにおける豊富な事例紹介など、告知活動によるニーズの掘り起こしに努めるほか、画像検索・音声検索技術を使った受託案件の獲得にも注力していく

ライセンス販売

複合機向けのライセンス販売は他のOCRソフトウェアとの競合が激化する

- OCR認識エンジンの性能の向上を図り、継続して複合機向けのライセンス販売の受注を確保する
- 複合機以外のライセンス販売の拡大に向け、他社とのアライアンスを進める

パッケージ流通

名刺管理ソフトは個人の情報管理意識の高まりにより新たな需要が期待できる

- 自社製品の店頭販売のほか、他社向けOEM供給も拡大していく
- 主なOCRパッケージの目標販売本数

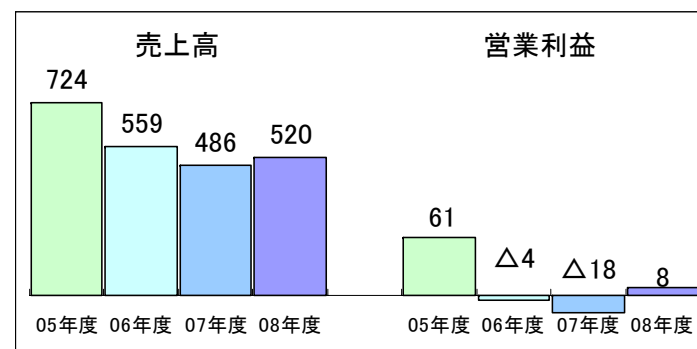
製品名	上期	下期	通期
やさしく名刺ファイリング	5,630	6,635	12,265
e.Typist	2,155	2,070	4,225
文字入力フォーム	1,125	1,260	2,385
やさしくファイリング	380	1,040	1,420

ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

主要取引先からの受注は短期間での回復は期待できない



- 主要取引先からの受注は確実に確保するとともに技術サービスや修理業務を中心として新規案件の確保を推進する
- 協力会社管理の徹底や外注費などのコストの削減により収支を改善させる



〔百万円〕

会社別業績予想

〔百万円〕

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
NJK(個別)	2007.3期	13,778	823	1,026	619
	2008.3期	12,497	650	627	244
	2009.3期	13,400	900	980	780
NJKテクノ・システム	2007.3期	908	37	40	72
	2008.3期	811	17	22	18
	2009.3期	811	32	34	33
メディアドライブ	2007.3期	824	36	45	△38
	2008.3期	886	158	162	90
	2009.3期	846	70	73	36



付属資料

会社概要

経営の基本方針

「健全なコンピュータ・ネットワーク社会の実現に向けて、常に最適なソリューションを提供し続ける」

株式会社 エヌジェーケー

本社 : 東京都目黒区
 設立 : 昭和48年11月
 上場日 : 平成13年11月6日
 市場 : 東京証券取引所市場第2部
 資本金 : 42億2242万5000円
 従業員数 : 691人(平成20年3月末日)
 事業内容 : ソフトウェア開発
 ネットワーク機器・システム商品販売
 オリジナルパッケージ開発及び販売

連結子会社

メディアドライブ(株)

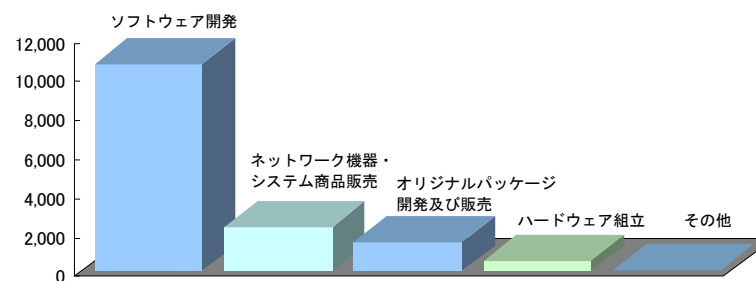
設立 : 平成3年11月
 資本金 : 4億円
 事業内容 :
 オリジナルパッケージ開発及び販売
 ネットワーク機器・システム商品販売
 ソフトウェア開発

エヌジェーケーテクノ・システム(株)

設立 : 昭和44年6月
 資本金 : 7,978万円
 事業内容 : ハードウェア組立
 ソフトウェア開発
 その他(出版)

※エヌジェーケーテクノ・システム(株)は2005年10月にエーアイ出版(株)(連結子会社)を吸収合併いたしました。

当期の売上高(百万円)と従業員数(人)



	ソフトウェア開発	ネットワーク機器・システム商品販売	オリジナルパッケージ開発及び販売	ハードウェア組立	その他	共通	計
売上高	10,075	2,177	1,240	486	38		14,019
従業員数	617	26	69	14	1	49	776
執行会社	NJK						
	メディアドライブ						
				NJKテクノ・システム (エーアイ出版)			

- ・ソフトウェア開発事業 : 基幹系システム関連、セキュリティ関連、Web関連、モバイル関連、データベース関連、ネットワーク関連などのシステムの開発やテクニカル支援サービス
- ・ネットワーク機器・システム商品販売 : 情報関連機器の販売及びネットワークシステムコンサルティング・設計・導入設置・保守・運用支援・その他サービス、TV会議システムなどの各種システム商品の販売
- ・オリジナルパッケージ : 文字画像認識ソフト、音声認識合成ソフト、ファイリングソフト、BUI技術を使用したNatureシリーズ及びBUIソリューション、マンション管理システム、セマンティックソリューションなどのオリジナルパッケージソフトの開発・販売
- ・ハードウェア組立 : 各種電子基板及びコンピュータ関連機器の組立ならびに検査
- ・その他 : 不動産賃貸ならびに製品マニュアル・通信教育用教材などの受託制作

中期経営計画～経営目標と概要

経営目標(2009年度(最終年度))

- ・ ROE : 9～10.0%
(自己資本当期純利益率)
- ・ EPS : 65～70円
(1株当たり当期純利益)

売上高利益率の
向上による
ROEの上昇を目指す

概 要

(ソフトウェア開発・ネットワーク機器システム商品販売)

既存事業の着実な成長

+

(オリジナルテクノロジーに裏打ちされたソフトプロダクト・ソリューションサービス)

新たなビジネスモデルによる飛躍的な成長